

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦2020年 6月5日作成 第1.0版

研究課題名	本邦における COVID-19 感染患者治療の疫学的調査
研究の対象	新型コロナウイルス (COVID-19) に感染し高度救命救急センター受診後、ICU に入室した患者さんすべてを対象としています。
研究目的 ・方法	<p>研究の目的：本研究は、ICU に入院した COVID-19 が陽性の患者特に人工呼吸器管理や ECMO 治療が必要となった重症患者を対象とし、その臨床的特徴や管理治療経過を明らかにし、将来の COVID-19 による重症患者の治療戦略に応用できることを目指すものです。</p> <p>方法：本研究は COVID-19 の感染が確定した患者の入院／ICU 入室後 28 日間を追跡します。本研究は、本邦における COVID-19 感染症にかかる臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的としております。また、本研究は、全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自の疫学的評価を行うことを目的としています。</p>
研究期間	西暦 2020 年 7 月 13 日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	カルテ情報：患者さんの基礎情報（年齢、体重など）や医療背景（喫煙歴や既往など）、COVID2019 の感染徴候（症状出現日や抗ウイルス薬・抗菌薬の使用状況など）、ECMO や人工呼吸器などの臨床特徴や治療状況（ECMO や人工呼吸器の設定）、ECMO 管理中の合併症（輸血量や出血、感染合併症の有無など）、主要評価項目（ECMO 期間、人工呼吸器期間、ICU・病院滞在期間など）。
外部への 試料・情報の 提供	個人が特定されない情報を、中央データベース（広島大学管理下の CRISI）に提出し登録します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部からの試料・情報の取得と保管はございません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	統括：広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗 協力施設：済生会宇都宮病院、京都府立医科大学、日本医科大学他
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター（研究責任者）谷口 隼人 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9913 主機関：広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗</p>	